

## 令和8年度日本観光振興協会「中国地域会員の集い」を開催しました

2026年5月21日（木）、令和8年度日本観光振興協会「中国地域会員の集い」をホテルグランヴィア岡山（岡山市）において開催しました。

この「中国地域会員の集い」は、当協会の中国地域に所在する会員が一堂に会し、情報交換や意見交換、相互交流等を目的に毎年開催するものです。

冒頭、当協会の佐々木茂喜理事（中国統括）から開会の挨拶があり、続いて、来賓として国土交通省の金子修久中国運輸局長からご挨拶いただくとともに、開催地を代表して、岡山県観光連盟の石井会長からもご挨拶をいただきました。

さらに、当協会の最明仁理事長から挨拶を行い、その中で当協会の主要な取組などについて紹介しました。

その後、「観光施設？市民の場？大原美術館の場合」と題して、倉敷商工会議所会頭、（公財）大原芸術財団代表理事の大原あかね様により中国地方を代表する観光地倉敷や、その核となっている「大原美術館」の運営について示唆に富んだご講演をいただいたほか、事業報告等の後、令和8年度地域観光振興事業功労者表彰の表彰式を行い、中国地方の観光振興にご尽力いただいた5名の皆様が受賞されました。

（佐々木理事（中国統括）の開会挨拶）



(大原あかね様の講演の様子)



(地域観光振興事業功労者表彰式の様子)



令和8年度の地域観光振興事業功労者は、以下の5名の方々です（敬称略）。  
略歴・功績等は別紙をご参照ください。

- |       |         |         |          |          |
|-------|---------|---------|----------|----------|
| ■ 鳥取県 | な<br>名  | ごし<br>越 | むね<br>宗  | ひろ<br>弘  |
| ■ 島根県 | なか<br>中 | むら<br>村 | とし<br>等  | みつ<br>光  |
| ■ 岡山県 | にし<br>西 | の<br>野  | のぼる<br>昇 |          |
| ■ 広島県 | なか<br>中 | むら<br>村 | やす<br>靖  | ふみ<br>富満 |
| ■ 山口県 | とみ<br>富 | なが<br>永 | よう<br>洋  | いち<br>一  |



上段左から、日観振 最明理事長、西日本旅客鉄道 林理事・岡山支社長  
中国運輸局 金子局長、岡山県観光連盟 石井会長、鳥取県観光連盟 小谷会長  
下段左から、山口県 富永様、広島県 中村様、岡山県 西野様、  
日観振 佐々木理事（中国統括）、島根県 中村様、鳥取県 名越様

《問い合わせ先》  
公益社団法人日本観光振興協会  
中国事務局（胡家・佐々木）  
Email : cgk-br@nihon-kankou.or.jp

## ・令和8年度被表彰者 名越 宗弘 氏（鳥取県）

## 《略歴》

- 平成16年～ 株式会社赤瓦 取締役・代表取締役  
平成22年～ 倉吉市ホテル旅館組合 組合長・副組合長  
平成23年～ 一般社団法人倉吉観光MICE協会 理事・副会長・会長

## 《功績概要》

平成16年に第三セクターの株式会社赤瓦取締役に就任し、爾来、倉吉市の中心部にある玉川土蔵群において伝統的な街並みの店舗などを改修・整備し、店舗や宿泊施設の誘致による「まちの再生」を実現、官民共同の観光まちづくりに取り組んでいる。

また、平成28年の鳥取中部地震の発生時には倉吉市ホテル旅館組合の組合長として災害復旧や観光客誘致の再開に向け陣頭指揮をとり、震災復興に尽力した。

さらに令和元年には倉吉市観光MICE協会の会長に就任し、その前向きな発想と先見性をもって地域の観光振興の推進に率先して取り組んでいる。

## ・令和8年度被表彰者 中村 等光 氏（島根県）

## 《略歴》

- 昭和43年～ 一般社団法人海士町観光協会 理事・会長（～令和6年6月まで）

## 《功績概要》

平成24年に海士町観光協会代表理事に就任、爾来、観光協会で旅行業の登録を行い、地域資源を活用した着地型旅行商品の企画・販売を開始し、地域観光の高付加価値化と誘客促進に資する多様な事業展開を主導してきた。さらに特定人材派遣業も手掛け、「マルチワーカー」として現場に派遣、観光関連施設等における人材不足の解消に寄与してきた。

また、町のアンテナショップ機能を担う「離島キッチン」の運営に取り組み、平成27年には東京神楽坂に直営店を開設、首都圏における海士町の認知度向上や情報発信に取り組むとともに、島内にリネンサプライ事業会社を設立し、地域経済の循環や雇用の創出に寄与したほか、島内民宿事業者の後方支援業務を一括受託する新たな運営支援モデルを構築し、「島宿」として事業の再生を推進するなど、地域の観光産業の持続的発展に顕著な成果を上げてきた。

## ・令和8年度被表彰者 西野 昇 氏（岡山県）

## 《略歴》

- 平成3年～ 美星町観光協会 理事・副会長・会長（令和7年5月まで）  
平成26年～ 美星町自治公民館連合会 会長（令和8年3月まで）

## 《功績概要》

平成3年に美星町観光協会理事に就任し、長きにわたり地域の観光振興に尽力。全国で初めて制定された「美しい星空を守る美星町光害（ひかりがい）防止条例」に基づき、平成30年「びせい星守プロジェクト」をスタートさせた。行政と連携し光害防止基準に適合した照明器具への交換やメーカーへの新たな器具開発の働きかけを進めると共に、住民への理解向上を目指す取組を行い、令和3年11月にはアジア初となる「星空保護区®（コミュニティ部門）」に認定された。

また、星空案内人（星の郷☆美星マイスター）の養成や星空解説を組み込んだ企画ツアーの開発など、美星町（井原市）が「星空が美しい町」として広く認知されるよう数々の取組を進め、岡山県の観光振興に大きく貢献した。

・令和 8 年度被表彰者 中村 靖富満 氏 (広島県)

《略歴》

昭和 61 年～ 有限会社やまだ屋入社 常務取締役・代表取締役社長  
平成 7 年～ 一般社団法人宮島観光協会 理事・副会長・会長  
令和 6 年～ 廿日市市総合計画審議会委員

《功績概要》

平成 7 年に宮島観光協会の理事に就任、爾来 31 年の長きにわたり地域の観光振興に寄与するとともに、平成 14 年から会長を務め、平成 24 年の大河ドラマ「平清盛」の誘致活動やドラマ館の設置など地元としての歓迎事業に注力するとともに、平成 26 年の「平清盛像」建立には実行委員長として尽力した。

平成 28 年の「厳島神社世界遺産登録 20 周年記念事業実行委員会」、平成 30 年の「平清盛公生誕 900 年記念事業」に加え、本年度の「厳島神社世界遺産登録 30 周年記念事業実行委員会」において実行委員長を務め、地元の一層の観光振興に力を注いでいる。

また、コロナ禍においては、ソーシャルディスタンス確保のための「新型コロナ RE オープンお手伝いし隊」の設置など、苦境にあった会員の支援にも尽力するなど、宮島町内の観光関連事業者の信頼も厚く、自ら先頭に立って観光地としての地域づくりに力を尽くしている。

・令和 8 年度被表彰者 富永 洋一 氏 (山口県)

《略歴》

平成 10 年～ 株式会社コミュニティエフエム下関 代表取締役・代表取締役会長  
平成 20 年～ 一般社団法人下関観光コンベンション協会 理事・会長  
平成 25 年～ 株式会社あるかぼーとテラス 代表取締役  
平成 25 年～ 一般社団法人山口県観光連盟 副会長

《功績概要》

平成 10 年にコミュニティエフエム下関代表取締役に就任、地域密着型の市民ラジオ放送を通じて観光や交通、地域の情報等をきめ細かく発信することにより、地域の観光振興に貢献するとともに、平成 24 年に下関観光コンベンション協会の会長就任後は、下関海響マラソン実行委員会委員長や先帝祭上臈道中参拝実行委員会会長、下関観光キャンペーン実行委員会会長などを歴任し、先頭に立って国内外への情報発信を行い、下関市一帯の認知度向上に尽力してきた。

さらに、平成 25 年には山口県観光連盟副会長に就任し、幅広い識見を県内全体の観光振興や関係団体との連携に活かし、広く山口県の観光振興に貢献している。